

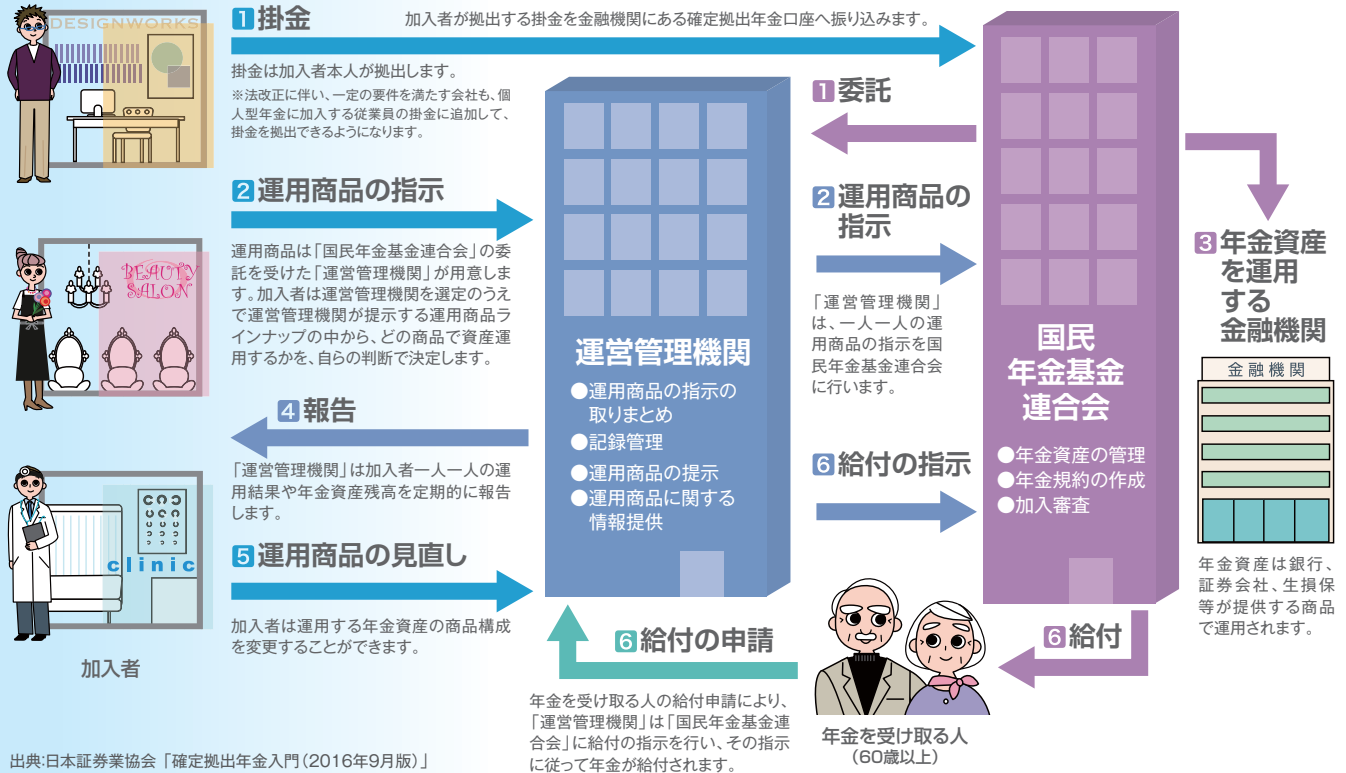


# 個人型確定拠出年金 のしくみ

※国民年金基金連合会の役割とは

加入者が拠出した掛金の管理を行います。また、個人型年金規約の作成や加入資格があるかどうかの審査を行います。加入申込の受付や掛金の振り込みは、国民年金基金連合会から委託を受けた金融機関などの申込窓口を通じて行います。

個人型確定拠出年金は掛金を加入者が自ら拠出し、運営管理機関を選び、運用商品の指示を行います。その主なしくみを理解しましょう。



出典:日本証券業協会「確定拠出年金入門(2016年9月版)」

3 最後に  
少子高齢化の進展に伴い、公的年金に頼ることが年々難しくなっているなか、確定拠出年金をはじめとする自助努力による資産形成が一層重要になっていきます。

日本証券業協会のホームページにおいては、確定拠出年金やNISAなど、自助努力による資産形成に資する制度について分かりやすく説明していますので、ご覧ください。

<http://www.jsda.or.jp/manabu/publications/index.html>

また、日本証券業協会では、将来に備えたライフプラン・マネープラン、金融商品や証券投資の基礎知識などを学んでいただくため、社員研修などのご依頼に応じて、無料で講師を派遣させていただきます。

合に限りませんが新たに追加されます(2017年1月1日施行)。これにより、国民年金の被保険者である6700万人の大半がiDeCoの加入対象者となる見込みです。

また、企業年金制度間で年金資産を移管できる範囲が拡充され、たとえば、企業型DCやiDeCoから確定給付年金(DB)に資産を移管することができるようになります(公布から2年以内に施行)。

## ゆとりのある老後生活への備え

国	公的年金	国民年金 厚生年金
会社	退職金・企業年金	退職一時金 企業型確定拠出年金 厚生年金基金 確定給付企業年金 等
個人	自助努力	個人型確定拠出年金 預貯金、投資信託、個人年金 等



セカンドライフに備えるためには

老後の最低日常生活費以外に  
月額  
約13.4万円  
必要 ※1

「夫が会社員、妻が専業主婦」という会社員夫婦が、老後の最低日常生活費以外に必要と考えられる金額は、月額約13.4万円であるといわれています。セカンドライフに備えるための収入としては、退職金や企業年金、個人型確定拠出年金、個人年金などがあります。

※1 生命保険文化センター「平成25年度生活保障に関する調査」

出典:日本証券業協会「確定拠出年金入門(2016年9月版)」

誘行為などは一切行わず、中立公正な立場で、分かりやすく説明させていただきますので、ぜひ活用ください。

講師派遣の具体的なご要望がございましたら、お気軽に以下までご相談ください。

〈連絡先〉  
日本証券業協会 名古屋地区協会  
電話05225133891